



北見西ロータリークラブ会報

2024～2025年度クラブテーマ

《明るく・楽しく・元気よく

広げよう親睦の輪！深めよう絆！育もう奉仕の精神！》

こころ

■創立日 昭和46年4月29日(1971/4/29)
 ■承認日 昭和46年5月27日(1971/5/27)
 ■例会場所 ホテル黒部(7条西1丁目)
 TEL 23-2251
 ■毎週木曜日 12時30分～13時30分
 ■事務局 TEL 25-2824

■会長 西村 清一 ■会長エレクト 松井 順仁
 ■副会長 山本 英敏 ■幹事 迫田 圭太



第2500地区ガバナーテーマ

「ロータリーに参画しましょう！ 誰かのために、あなたのために、自分のために」

第2502回例会

2024年10月10日(木)

ホテル黒部

本日のプログラム

職場訪問 移動例会

於：オホーツクビール(株) 職業奉仕委員会

第2501回 例会記録

2024/10/3

会長挨拶

西村会長



皆様、大変お疲れ様でございます。今日もたくさんの方の会員の方にご参加をいただきまして大変有難うございます。少しずつ出席率の方も上がっているような気が致しますけれども、若干今日は空席が目立ちますので石田出席委員長宜しく願い致します。

先週、トラブルがございまして食事の用意がなかなか揃わなかったテーブルがあったように聞いております。この原因の一端が私にあるというような話が流れてきております。何かと申し上げますと、普段会長挨拶が非常に長いのでホテル黒部さんの方たちがゆっくりと丁寧に準備をされているようでございまして、先週だけが皆様のご期待に応えて短く終わらせてしまったものですから、なかなか配膳のほうに手がまわらなかったという事で、その原因の一端が西村会長の会長挨拶にあると耳に致しました。本当かどうかは分かりませんが今日は黒部さん、ゆっくり配膳の準備をいただければと思っておりますので宜しく願いを致します。

今月は米山月間でございます。ロータリー歴の長い大先輩の方たちは十分にご存じかと思っておりますけれども、まだ入会して日の浅いメンバーも増えてきておりますので、米山梅吉さんがどういう方でどういう生き立ちでどうやって奨学生制度が成立されたのか、少しだけ駆け足でご説明させてもらおうと思っております。1868年、元武士の竹造の三男として生まれる。梅吉4歳の時、父竹造が急逝し母の里である三島に移る。大変賢い子供で地元の名士米山家より迎え入れがあり、そこから学校に通い始め勉学に励む。15歳の時、梅吉はもっと勉強したいという一心で米山家に黙って徒歩で箱根を越えて東京に向かう。その後も勉学に励みアメリカに渡り8年間勉強に明け暮れ、その後日本に帰国し三井銀行に入社。要職を歴任し日本の経済の顔になっていく。視察のため諸外国へ足を運ぶこととなり、そこでロータリーと出会うことになる。それからロー

天気  (例会時) 最高気温 17℃

昼食

スープ

サガリ麴漬けオープン焼き牡蠣フライ

サラダ ライス

デザート コーヒー

■ニコニコボックス 神野親睦活動委員

紺野会員

先々週の家族例会にて子供達がお世話になりました。ありがとうございました。

長尾会員

先日の家族同伴夜間例会のジャンケン大会で、長女が副会長賞をいただきました。高級フルーツとってもおいしかったです。ありがとうございました。

タリーの事を勉強し1920年、大正9年に日本初のロータリークラブである東京ロータリークラブを設立し初代の会長に就任。1924年、大正13年に三井信託株式会社を設立し社長に就任。1937年、昭和12年に私財を投げ売って財団法人緑岡小学校を設立し校長に就任。これが今の青山学院の初等部になるそうです。1938年、昭和13年に貴族院議員（現国会議員）となりとにかく困っている人や助けを求めている人がいればどこへでも出向いて一人でも多くの人を笑顔にしたい、そんな無私な活動を続けていた。そんななか日本は戦争に向かっていき1940年、昭和15年、ロータリークラブは解散を命じられる。これはR Iのほうからアメリカとの関係があって解散命令が出て、そこで一旦解散をしたのですがロータリークラブは水曜クラブと名を変えて活動を続け1949年、昭和24年敗戦をして4年後、再びロータリークラブという元の名で復活を遂げる。しかし、米山梅吉はロータリーの復活の姿を見ることなく1946年、昭和21年4月28日に逝去。享年78歳。1952年、昭和27年11月日本で最初にロータリークラブを設立した米山梅吉の功績を記念して東京ロータリークラブが米山奨学生制度を確立した。その後、全国全世界に広がっていく。今現在奨学生の累積数が2万数千人とされておりまして。そこまで世界的に広がっているということです。米山奨学金の目的は日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に平和日本の理解を促すことにあり、留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信用し合う関係を築き、日本と世界を結ぶ架け橋となることを願って創られたものです。私、米山梅吉さんがこの米山奨学生制度をお創りになられた方なのかなとずっと思っていたのですが、今回色々調べてみると実はご逝去された後に東京ロータリークラブの方たちが功績を記念して米山奨学生制度を作り上げていったという事でありまして。

さて、本日の例会ですが、その奨学生制度を活用して西ロータリークラブでお預かりをしているステイジャー ルット パティッターさんに卓話をしていただく事になっておりますので宜しくお願い致します。

短い時間ではありますが、楽しく実のある例会であります事を祈念致しまして例会冒頭のご挨拶とさせていただきます。



■ 10月の誕生祝 伊東親睦活動委員

朝川会員、野呂会員、内藤会員、高田会員



■ 10月の結婚祝 伊東親睦活動委員

棧会員、土井会員、野呂会員、宮田会員、宮本会員、神野会員、小村会員

幹事報告

迫田幹事

- 1) 本日例会終了後、理事会がございます。
- 2) 10月12日に開催される地区大会についてです。バスに乗られる会員様の集合時間は13時30分となっております。集合場所はホテル黒部様となっておりますのでお間違えのないようお願い致します。13日の帰りのバスは18時30分から19時前後で帰ってくる予定となっておりますので宜しくお願い致します。
- 3) 次週の例会はオホーツクビール園様で18時からとなっておりますので、お間違えのないよう宜しくお願い致します。
- 4) 10月のロータリーレートは142円となっております。

委員会報告

米山奨学委員会 山本委員長

本日レターボックスに特別寄付金のお願いの文章を入れさせていただきました。

今年も特別寄付金として個別の寄付金のお願いに上がりたいと思います。今月の17日と24日の例会時にお伺いしますので大変申し訳ございませんがニコニコと協力お願い致します。

職業奉仕委員会 三浦委員長

来週の移動例会についてのご案内です。10日18時よりオホーツクビール園様となっております。ビールを飲まれる方はくれぐれも車では来られないようお願い致します。会費4,000円となっております。お釣りのないようご用意をお願いしたいと思います。

社会奉仕委員会 山口委員長

北見市共同募金委員会より赤い羽根共同募金の協力依頼が届いておりますので、この後各テーブルを回らせていただきますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

プログラム

米山月間に因んで 「研究テーマについて」

米山奨学生 ステイジャー ル ワット パティッターさん 米山記念奨学委員会



米山奨学委員会 山本委員長より挨拶の後、米山奨学生 ステイジャー ル ワット パティッターさんに卓話をしていただきました。

背景・目的

生物の機能 → バイオミメティクス → 歩行 → 機能材料 防振

ムラサキウニ

曲げ特性

- 歩帯の跡
- 間歩帯の跡

構造解析

- X線回折 (XRD)
- 走査型電子顕微鏡法 (SEM)
- エネルギー分散型X線分光法 (EDS)
- 誘導結合プラズマ発光分光分析法 (ICP-AES)

実験方法 曲げ試験

せん断応力 (τ) = $\frac{P}{A}$ P: 荷重, A: たわみ

せん断ひずみ (γ) = $\frac{\delta}{L}$ δ: たわみ, L: 全長

弾性係数 (E) = $\frac{P}{\Delta L}$ ΔL: 弾性変位

曲げ強さ (σ_{max}) = $\frac{P_{max} \cdot L}{I}$ P_{max}: 最大荷重, I: 断面二次モーメント

実験方法 結晶構造解析・元素分析

測定条件

- X線源: Cu-Kα
- 管電圧: 40 kV
- 管電流: 20 mA
- 回折角: 2θ ~ 33°

Braggの式: $d = \frac{a}{\sqrt{h^2 + k^2 + l^2}}$

格子面間隔算出

測定条件

- 加速電圧: 15 kV
- 測定倍率: 1500倍

結果 曲げ試験

せん断応力 (MPa) vs せん断ひずみ (mm/mm)

曲げ特性	歩帯	間歩帯	その他
せん断応力 (MPa)	7.13	4.72	歩帯が間歩帯より高い
せん断ひずみ	0.064	0.167	歩帯が間歩帯より低い
弾性係数 (GPa)	52.067	10.133	歩帯が間歩帯より高い
曲げ強さ (MPa)	631.75	300.71	歩帯が間歩帯より高い

実験方法 結晶構造解析・元素分析

誘導結合プラズマ発光分光分析法 (ICP-AES)

0.1g 量り取り

硝酸 2mL入り

100°C 40分 加熱溶解

50mLまで 純水追加

検量線の標準濃度の濃度 (mg/L)

5 → 2.5 → 1

0.5 → 0.25 → 0.1

CaとMgの標準法

0.05 → 0.025 → 0.01

実験方法 結晶構造解析・元素分析

誘導結合プラズマ発光分光分析法 (ICP-AES)

0.1g 量り取り

硝酸 2mL入り

100°C 40分 加熱溶解

50mLまで 純水追加

検量線の標準濃度の濃度 (mg/L)

5 → 2.5 → 1

0.5 → 0.25 → 0.1

CaとMgの標準法

0.05 → 0.025 → 0.01

ICP-AES装置でCaとMgの濃度を精密に測定

結果 結晶構造解析・元素分析

XRDによる面間隔 (104)

ICP-AESによる元素分析

CaとMgの濃度 (mg)

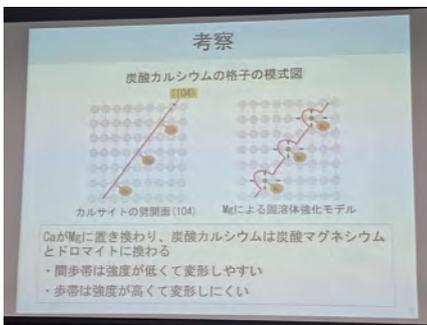
Ca: 47.0, 43.0, 41.0, 39.0, 37.0, 35.0, 33.0, 31.0, 29.0, 27.0, 25.0, 23.0, 21.0, 19.0, 17.0, 15.0, 13.0, 11.0, 9.0, 7.0, 5.0, 3.0, 1.0

Mg: 1.000, 0.995, 0.990, 0.985, 0.980, 0.975, 0.970, 0.965, 0.960, 0.955, 0.950, 0.945, 0.940, 0.935, 0.930, 0.925, 0.920, 0.915, 0.910, 0.905, 0.900, 0.895, 0.890, 0.885, 0.880, 0.875, 0.870, 0.865, 0.860, 0.855, 0.850, 0.845, 0.840, 0.835, 0.830, 0.825, 0.820, 0.815, 0.810, 0.805, 0.800, 0.795, 0.790, 0.785, 0.780, 0.775, 0.770, 0.765, 0.760, 0.755, 0.750, 0.745, 0.740, 0.735, 0.730, 0.725, 0.720, 0.715, 0.710, 0.705, 0.700, 0.695, 0.690, 0.685, 0.680, 0.675, 0.670, 0.665, 0.660, 0.655, 0.650, 0.645, 0.640, 0.635, 0.630, 0.625, 0.620, 0.615, 0.610, 0.605, 0.600, 0.595, 0.590, 0.585, 0.580, 0.575, 0.570, 0.565, 0.560, 0.555, 0.550, 0.545, 0.540, 0.535, 0.530, 0.525, 0.520, 0.515, 0.510, 0.505, 0.500, 0.495, 0.490, 0.485, 0.480, 0.475, 0.470, 0.465, 0.460, 0.455, 0.450, 0.445, 0.440, 0.435, 0.430, 0.425, 0.420, 0.415, 0.410, 0.405, 0.400, 0.395, 0.390, 0.385, 0.380, 0.375, 0.370, 0.365, 0.360, 0.355, 0.350, 0.345, 0.340, 0.335, 0.330, 0.325, 0.320, 0.315, 0.310, 0.305, 0.300, 0.295, 0.290, 0.285, 0.280, 0.275, 0.270, 0.265, 0.260, 0.255, 0.250, 0.245, 0.240, 0.235, 0.230, 0.225, 0.220, 0.215, 0.210, 0.205, 0.200, 0.195, 0.190, 0.185, 0.180, 0.175, 0.170, 0.165, 0.160, 0.155, 0.150, 0.145, 0.140, 0.135, 0.130, 0.125, 0.120, 0.115, 0.110, 0.105, 0.100, 0.095, 0.090, 0.085, 0.080, 0.075, 0.070, 0.065, 0.060, 0.055, 0.050, 0.045, 0.040, 0.035, 0.030, 0.025, 0.020, 0.015, 0.010, 0.005, 0.000

CaとMgの標準法

0.05 → 0.025 → 0.01

ICP-AES装置でCaとMgの濃度を精密に測定



■ 例会予告	10月17日	次年度役員選出について・卓話③	会長・幹事・プログラム委員会
	10月24日	地域社会の経済発展月間に困って 「地方行政サービス支援のためにSNSの声を活用出来るか? ~産学協同研究事例から」 北見工業大学 地域未来デザイン工学科 教授 榎井 文人 地域発展委員会	

出席報告 **石田出席委員長**

	月 日	会員数 (A)	出席免除者数 (B)	出席数 (免除者含む) (C)	例会に出席した 免除者の数 (D)	事前メー クアップ (E)	事後メー クアップ (F)	出席率 $\frac{C+E+F}{(A-B)+D} \times 100$
本日例会	10月3日	60 (休会者 3名)	12	43	9	2		78.9%